

## 2 予算のあらまし

### (1) 国の予算を巡る動きと予算編成

国の令和4年度予算は、新型コロナウイルス感染症への対応に万全を期すとともに、「コロナ後の新しい社会」を見据え、成長と分配の好循環による新しい資本主義を実現するため、科学技術立国の実現、地方を活性化して世界とつながる「デジタル田園都市国家構想」、経済安全保障の推進の3つを柱とした経済成長戦略と、全ての世代が支え合う持続可能な全世代型社会保障制度の構築を柱とした分配戦略に基づく取組に対して、予算が重点的に配分されたほか、東日本大震災をはじめ各地の災害からの復興・創生や、防災・減災、国土強じん化等への対応、現下の国際情勢に的確に対応する国家の安全保障の確保等に必要な予算措置が講じられました。

この結果、一般会計予算の規模は、107兆5,964億円（前年度比9,867億円、0.9%増）となっています。

また、令和4年度の地方財政への対応においては、社会保障関係費の増加が見込まれる中、地方が地域社会のデジタル化や公共施設の脱炭素化の取組等の推進、消防・防災力の一層の強化等に取り組みつつ、交付団体をはじめ地方が安定的な財政運営を行うために必要となる一般財源総額について、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保することを基本として地方財政対策が講じられました。

この結果、地方財政計画（通常収支分）の規模は、90兆5,918億円（前年度比7,858億円、0.9%増）、一般財源総額（水準超経費を除く交付団体ベース）は62兆135億円（前年度比203億円、0.0%増）となっています。

本県では、これまでの行財政改革の取組により、県債残高や経常収支適正度の目標を達成するなど成果が着実に現れているものの、今後も社会保障関係経費が増加すること、県債管理基金への積立見送りによる財源不足額の解消といった緊急避難的な措置に頼った予算編成が続いたことなどから、持続可能な財政運営の確保に向けた歩みを着実に進めていく必要があります。

こうした財政状況を踏まえ、本県の令和4年度当初予算は、「強じんな<sup>うま</sup>美<sup>くに</sup>し国」をめざして三重を前に進める予算となります。

三重を一層元気にし、県民の皆さんが笑顔で暮らしていけるよう、強じんな多様な魅力あふれる「美<sup>うま</sup>し<sup>くに</sup>国」をめざし、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、最優先課題である県民の命と暮らしを守るための取組をしっかりと進めつつ、県内産業の一層の振興を図るとともに、人口減少対策、脱炭素社会やデジタル社会の推進などの喫緊の課題に粘り強く取り組みます。